2.1 脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業

③サーボ駆動式機械プレスの新規導入に伴うバックアップ体制強化と生産性の向上

多摩川ハイテック株式会社（青森県八戸市／製造業）

【HP】https://www.tamagawa-hightech.co.jp/jp/　【備考】代表申請者　三井住友ファイナンス＆リース株式会社（東京都千代田区／リース会社）

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	脱炭素社会の構築に向けたESGリース促進事業
補助事業の概要	中小企業等がリースで脱炭素機器を導入する際、指定リース事業者※によるESG要素を考慮した取組やサプライチェーン上の脱炭素化に資する取組が基準を満たしている場合、脱炭素機器の種類に応じて総リース料の1～6%を指定リース事業者に対して助成を行い、補助率に応じた総リース料の減免を行う。 ※ 指定リース事業者とはリース先の選定に対してESGの要素を考慮する体制を整えているなどの一定要件を満たし、本事業において補助事業者から補助金を受ける事が出来るリース事業者のこと。
実施目的	本事業では、バリューチェーン全体での脱炭素化に貢献する中小企業等における設備投資への支援や、リース会社によるESG要素を考慮した取組の促進を通じて、バリューチェーン全体での企業における脱炭素化の取組推進を目指すものである。
交付対象	民間事業者・団体（指定リース事業者）
補助率	① 国から民間団体への補助：定額 ② 民間団体から指定リース事業者への補助：1～6% 補助上限： 1リース契約の補助金の対象となる脱炭素機器部分のリース料の総額が、65万円以上、2億円以内

③サーボ駆動式機械プレスの新規導入に伴うバックアップ体制強化と生産性の向上

事業の概要

補助金額	補助金額	約225万円
	補助率	3%
導入設備	従前設備	メカ式機械プレス
	導入設備	サーボ駆動式機械プレス
事業期間	稼働日	2025年2月
備考	導入台数	1台



サーボ駆動式機械プレス

事業の効果

エネルギーコスト※

▲約30（万円／年）

CO_2削減効果

約6（t-CO_2／年）

投資回収年数

3.1（年）→ **3.1**（年）

CO_2削減コスト

5.3（万円／t-CO_2）

副次的効果

- **既存マシンと同型設備のため、一方が故障した場合にもう一方の製造ラインでカバー可能なバックアップ体制が整った。**
- **品質向上により不良品が減少したため、材料・補助剤（アシストガス）の使用量が削減された。**

※ エネルギーコストは、電力単価：22.7円／kWh（出典：電気事業連合会HP）を用いて試算したものである。

事業者の声



小笠原 秀悦｜**多摩川ハイテック株式会社 福地第一工場　板金製造部・部長**

老朽化した設備を最新設備に更新したことにより加工品質が向上し、複合加工による自動化によって、大幅な工数削減が達成できました。

また、ESGリースは単なる資金調達だけではなく、サプライチェーン全体でESG対応が求められる中、大手企業との取引にも差別化が図られサステナブル企業として評価されています。